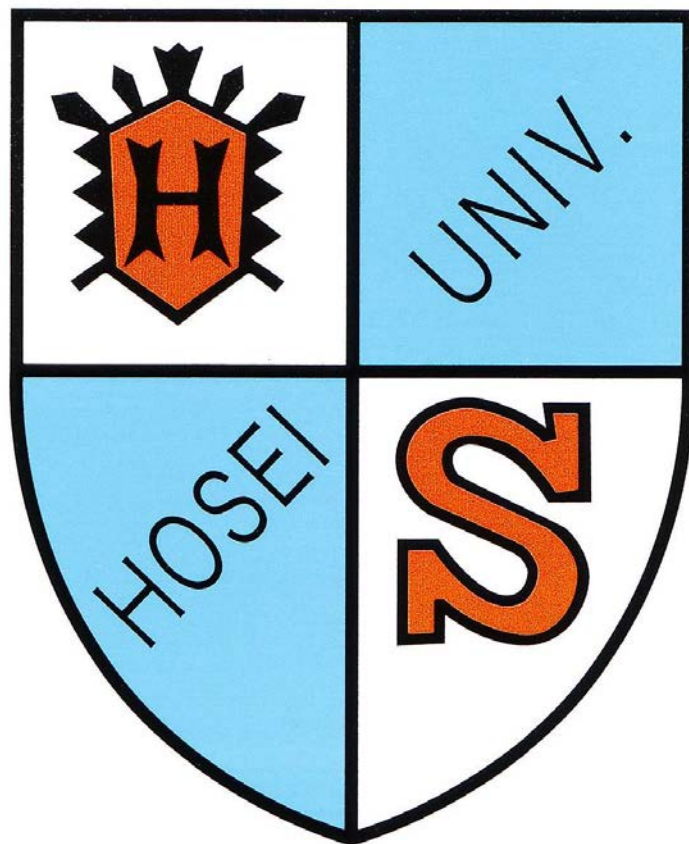


法政大学国際高等学校

評価ポリシーの細目（DP）



評価ポリシーの細目 (DP)

【細目 1】IB コース生の高等学校教育課程の

単位修得・成績評価について

本校が設置する IB コースの全ての DP 科目は、高等学校教育課程に準拠している。それら全ての科目には相応の単位が割当てられており、学習の記録として、成績評価が与えられる。これにより、本校の IB コースのカリキュラムでは、その全てを履修すれば日本国の定める高等学校教育課程修了書を取得できる。

Pre-IB Year (1 年次)

Pre-IB Year の生徒は、グローバル探究コースの生徒が 1 年次、および 2 年次に履修するほとんどの必修科目を履修する。教科担当教員による成績評価の算出は、その公平性を保つべく、IB コースの科目での学習の深度と、グローバル探究コースでの学習の深度とを、学科会において比較・検討した上で行われる。

DP 1 and 2 (2 年次、3 年次)

DP (ディプロマプログラム) は、2 年次から始まり 3 年次に修了する。本校では、2 年次を DP1 と呼び、3 年次を DP2 と呼ぶ。各 DP 科目について、HL (ハイヤーレベル) には 6 単位が、SL (スタンダードレベル) には 4 単位が、高等学校教育課程の単位として、割当てられている。『評価に関するポリシー』に示された形で、各科目の成績評価は年度末に最終決定される。必要な出席数があり、10 段階評価で 3 以上を得た場合、その科目は単位の修得となる。生徒に示される成績評価については、『評価に関するポリシー』の「成績評価の通知」を参照のこと。

DP プロGRESSレポート

IB コース 2 年次以降は、DP 科目については、高等学校教育課程に基づく成績評価とは別に、教科担当教員が作成するプロGRESSレポートが生徒に示される。このプロGRESSレポートは、生徒が、ディプロマ取得に向けて、自らの DP 各科目の学習の到達度がどの程度であるかを理解することを目的に作られた形成的評価であり、7 段階の数値と教科担当者のコメントで構成される報告書である。プロGRESSレポートは、下記の時期に提示される。

The schedule for Progress Reports is as follows:

Progress Report 1	Progress Report 2	Predicted Grade
Grade (_/7) + written comment	Grade (_/7) + written comment	Grade (_/7)
DP1 – Semester 1 (July)	DP 1 – Semester 2 (March)	DP2 – September

Predicted Grades 予測スコア

DP2 の教科担当者には、担当する全生徒の DP 科目の最終スコア（7段階）の予測をすることが求められる。教科担当者は、形成的評価及び総括的評価の両方を考慮しつつ、スコアを予測する。従って、予測スコアとは、模擬試験の結果のみで測定するものではない。

全ての科目の正式な予測スコアは、9 月の第 2 週に発表される。それらの予測スコアは最終決定値であり、IB 機構に提出される。予測スコアに関する意義申し立ては、本校の「苦情対応プロセス」に基づいて処理される。

生徒が大学に出願する際、予測スコアを大学に提出することを本校に要請できる。生徒は、事務室にてその申請を行う。手数料は事務室に問い合わせること。

Early-Predicted Grades 早期の予測スコア

生徒は、海外の大学に進学を希望する場合など、必要に応じて、上記の期限（9 月第 2 週）以前に早期予測スコアを請求できる。予測スコアを算出するにあたって 2 週間程度の期間を要することに留意すること。

正式な予測スコアとは異なり、早期予測スコアは、教科担当者が必要であると判断には、その後、修正される可能性があるものである。

Progress Alerts 警告票

警告票は、生徒の学習進捗に懸念があると判断した場合に、保護者に送付されるものである。生徒に、継続的な欠席、提出物や課題履行の遅れ、学習の遅れがみられたとき、あるいはその生徒の素行に懸念がある場合に、教科担当者は、担任及び DP コーディネーターに報告する。その報告が一定の程度を超えた場合、DP コーディネーター及び担任は、その懸念に関して生徒と面談を行う場合がある。ある程度の期間においてもその懸念が払拭されない場合、学校は、保護者に警告票を送付する。それを受理した保護者は、担任及び DP コーディネーターに、面会を要請し、その警告票の内容について相談することができる。

【細目 2】

DP で選択する科目を決定するプロセスについて

DP で履修する科目とレベル（SL 及び HL）を選択するにあたっては、生徒は、成績評価のみが学習の成功の指標ではないことをよく理解していなければならない。生徒にあっては、どの科目とレベルが自分に最も適しているかを把握すべく、自らの学習の進捗状況について、教科担当教員とよく話し合うことが重要である。また、自らの進学やキャリア形成の目標に向けて、どの科目を選択することが適切であるかについて、進路支援部（国内大学の場合）や国際部（海外の大学の場合）とも相談することが重要である。

1. 本校が設置する DP 科目とレベル及び授業言語は、下表を参照のこと。なお、レアなケースであるが、状況に応じて開講されない科目が生じうる。

2. 本校が設置していない科目（上表にない科目）を履修する希望がある場合、生徒は、オンラインによる受講を検討することが可能である。オンライン受講に関するポリシーについては、「細目3 パモジャ受講に関するポリシー」を参照のこと。
3. 次年度に履修する DP 科目について、Pre-IB Year の生徒はそれらの科目を 12 月の定められた時期までに決断し提出しなければならない。次年度の DP1 科目の時間割がそれにより決定する。12 月の履修科目提出後、年度末までに生徒が DP 科目の変更を希望する場合、DP コーディネーターに問い合わせなければならない。学校は、その変更により時間割の変更が伴わない場合にのみ、その変更希望について検討する。

教科 GROUP	科目	LEVEL*	授業言語
GROUP1 : Studies in Language and Literature 言語と文学	Japanese A Literature 日本語A文学	SL / HL	日本語
GROUP2 : Language Acquisition 言語の習得	English B 英語B	SL / HL	English
GROUP3 : Individuals and Societies 個人と社会	History 歴史	SL / HL	日本語
GROUP4 : Sciences 理科	Biology 生物 Chemistry 化学 Physics 物理	SL / HL SL SL / HL	日本語
GROUP5 : Mathematics 数学	Mathematics : Analysis and Approaches 数学	SL / HL	English
GROUP6 : The Arts 芸術	Visual Arts 美術	27年度以降の設置については未定 SL / HL	日本語
Core Subjects コア科目	TOK 知の理論 EE 課題論文 CAS 創造性・活動・奉仕		日本語

※SL:Standard level HL:Higher level

【細目3】パモジャ受講に関するポリシー

Pamoja は、オンラインで DP 科目を開講することを IB 機構が承認する唯一の会社である。Pamoja の提供するオンライン授業は、学校がその時点で開講していない科目を受講する機会を学生に与えるものである。全ての Pamoja のオンライン授業の言語は、英語である。受講にあたっては、以下の留意点に注意すること。

1. Pamoja のポリシーによると、学生は、Pamoja が設置する科目選択肢のみから科目を選択することができ、かつ、5 名以上の学生（本校生徒以外の学生を含む）がその授業に登録した場合にのみ、開講が保証される。

2. 本校は、一定の学力ならびに優れた自己管理スキルを有した生徒にのみ、オンライン受講を勧める。また、それに加えて、生徒には、授業内容を理解するための十分な英語力が必要である。
3. 生徒が Pamoja オンライン受講の登録するにあたり、本校は、書面による保護者の同意を求める。その用紙すなわち Pamoja 登録同意書については、生徒が DP コーディネーターに尋ねること。
4. Pamoja の受講では、日本の高等学校学習指導要領に即した科目の単位は付与されない。従って、オンライン授業の成績評価は、調査書に記録されず、評定平均値の算出には含まれない。
5. 本校においては、生徒が受講できるオンライン授業の数は、最大で1である。
6. 生徒及び保護者は、Pamoja の授業に対する本校からの学習支援を期待すべきでない。本校は、可能な場合に、学校図書館を通じて学習資料を提供するよう努める。
7. Pamoja の科目は、2 月開始・11 月終了である。この年間スケジュールは、本校の学事日程と整合しないので注意が必要である。従って、学内で起こる様々な状況に影響されず、独立的に学習に取り組むことが求められる。オンライン受講に長期間従事していない場合、Pamoja が規定するルールにより、その学生には、そのコースから除籍されるリスクがあることを理解すること。
8. 現行の Pamoja のポリシーによれば、受講者がオンライン授業の最初の暦月内（2 月に始まる場合においては 2 月中）にその受講を止める場合、オンライン授業料は請求されない。また、オンライン授業の受講を 4 月末までに止め、それにより本校設置の授業を受講することに変更することを希望する生徒は、DP コーディネーターにそのことを通知しなければならない。履修科目に関するあらゆる変更については、それに先立って、保護者・生徒・DP コーディネーター・担任教員間で行われる相談が必要である。また、そのような変更希望があった時、学校は、そのような生徒の高等学校課程修了を可能とすべく履修科目の変更に策を講じるよう努めるものとするが、その生徒の希望が叶うことは保証されない。
9. 4 月を過ぎた場合、オンライン受講者は、仮にオンライン受講を止めても、その代替として本校設置科目の受講に切り替えることは出来ない。従って、その場合、IB ディプロマを取得できる可能性はなくなる。このケースにおいても、保護者・生徒・DP コーディネーター・担任教員間で行われる相談が必要である。このような計画の変更に関する希望があった時、学校は、そのような生徒の高等学校課程修了を可能とすべく策を講じるよう努めるものとするが、その生徒の希望が叶うことは保証されない。
10. Pamoja によれば、Pamoja の講師は、IB 最終試験の前に当たる 9 月において、予測スコアを IB に提出することとなっている。大学への出願のために 9 月以前に予測スコアを知る必要がある場合には、DP コーディネーターに連絡すること。

本方針の改訂について

本方針は、年次更新され、改訂された方針はすべての志願者、学校関係者に開示される。